

令和5年度第4回宗像市スポーツ推進審議会 議事録（要旨）

日 時	令和6年3月26日（金）17:55～19:41	
会 場	宗像市役所 202会議室	
出席者	委 員	青野、市丸、石松、大賀、釜瀬、末永、西村、野口、村山
	事務局	大塚、上田、吉丸、水田、井上、福本

【開会】

大塚課長： 定刻となったので、令和5年度第4回宗像市スポーツ推進審議会を開会する。

この審議会は、宗像市スポーツ推進審議会条例第6条第2号の規定により、委員の半数以上の出席が成立条件となっている。本日は委員総数9人のうち、ご出席の委員数9人で、本日の審議会が成立することを報告する。

議事に入る前に資料の確認をする。

（資料の確認）

これからの進行を市丸会長にお願いします。

1 開会あいさつ

市丸会長あいさつ

2 議事録（議事要旨）署名委員の指名について

市丸会長： 議事録署名委員の選出について、今回の議事録署名委員を2人お願いします。名簿順に指名する。前は、西村委員と野口委員にお引き受けいただいたので、今回は、村山委員と青野委員にお引き受けいただきたいと思う。

（両委員が承認）

結果：議事録署名委員は村山委員、青野委員。

3 協議事項

市丸会長： 協議事項に入る。「(1) スポーツ推進計画の策定について」の「①宗像市の現状」について、事務局から説明をお願いします。

福本（文化スポーツ課）： 配布資料をもとに説明する。資料にまとめたデータは、宗像市が持っている様々な統計データのうち、スポーツとの関連性があると考えたデータを抜粋したものである。このデータの活用方法としては、第3期スポーツ推進計画の資料編に掲載したいと考えている。

抜粋した項目について、説明する。①人口、②子どもの人口：過去5年間分を抜粋。いずれも

減少傾向にある。子どもの人口は6歳以下の人口であり、この人口が減少傾向にあると将来の宗像市の人口も減少していくと見ることができる。③高齢化率：過去5年間分を抜粋。国、県の数値も並べている。数値は増加傾向にあるが、国、県と比較すると若干、宗像市の方が低い。④年齢階層別介護認定率：算出方法は、介護認定者数／介護保険第1号被保険者数。数値は減少傾向にある。高齢化率は増加している一方で介護認定率は減少していることから、元気な高齢者の割合が増えていると見ることができる。⑤障害手帳等保持者数：過去5年間分の障害種別ごとの数値を抜粋。身体と知的については手帳保持者数、精神については、手帳取得に抵抗がある人が多く、自立支援医療（精神通院）受給者数の方がより正確な値であるため、そちらを抜粋した。⑥メタボリックシンドローム該当者及び予備群：該当者、予備群のいずれも減少傾向にある。⑦児童生徒における痩身傾向児の割合、⑧児童生徒における肥満傾向児の割合：いずれも増加傾向にあることから、標準体型の割合が減少していると考えられる。⑨障がい者のスポーツや文化芸術活動への参加状況：障害福祉計画策定時に実施した市民アンケートから抜粋したもののため、令和2年と令和5年の数値となっている。参加している人の割合は若干増加しているが、参加していない人の割合が半数以上もある。⑩1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人の割合、⑪日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合：こちらのデータは国民健康保険加入者のみを対象とした数値となっている。これと別に、市が毎年実施している市民アンケートや今回文化スポーツ課で実施した市民アンケートのなかでも同じような項目が含まれているため、比較の材料にもなると考える。⑫体育施設等の利用状況：体育施設、ふれあいの森総合公園、学校開放については、コロナが明けて、徐々に利用者数が戻ってきているが、コロナ前の数までは戻りきれていない現状である。有料公園の利用者数の変化については、増加傾向の公園もあれば、減少傾向の公園もあり、一概に同じ状況とはなっていない。⑬体カテストの結果：過去5年間分の小学5年生と中学2年生の結果を表とグラフでまとめたが、令和2年度はコロナのため実施していないため、実質4年分のデータとなっている。コロナ前と比較して、記録が下がっているのではないかと見込んでいたが、その点に関しては、あまり関連性は見られない。

以上が、宗像市の現状として整理した項目となる。

市丸会長： 事務局の説明に対して質問等ないか。

末永委員： 学校開放のデータについて、1団体あたりの人数はどう変化しているか。

上田係長： 1団体あたりの人数までは把握できていない。

末永委員： 単純に、利用人数を団体数で割ればわかるのではないか。

市丸会長： 質問の間を割って申し訳ないが、データの見方を確認させていただきたい。団体数が多いようにも感じるが、人数ではなく、団体数で間違いないか。

上田係長： 年間の延べ利用団体数である。

市丸会長： 理解した。末永委員の質問に関連するのではないか。

末永委員： そのとおり。利用者数が減少しているが、それは、1団体あたりの人数が減っているのか、それとも実利用団体数が減っているのか、その辺りの傾向がどのようになっているのかが知りたくて質問した。

上田係長： そこまでの分析はできていない。

大塚課長： 吉武小を単純計算したところ、平成30年度が24.2人、令和4年度が22.0人であり、誤差の範囲内程度の推移とも考えられる。

市丸会長： その単位は何か。

大塚課長： 人数である。単純に利用者数を延べ利用団体数で割って算出した。1回あたりの平均利用者数と考えていただけると良い。

末永委員： 利用場所は体育館でよいか。

上田係長： 小学校については、この数値の約3割が運動場で約7割が体育館。中学校は体育館のみである。

末永委員： 運動場と体育館の収容人数は異なるため、その辺りを加味する必要があると考える。

大塚課長： 運動場と体育館がわかれているデータがないか探してみる。

市丸会長： 高齢化率について、元気な高齢者が多いとの説明もあったかと思うが、この数値が高い方が良いのか、悪いのか。

上田係長： 高齢化率が高くなることは、宗像市の未来を考えると良くないことである。

市丸会長： 高齢化率は高まっているが、元気な高齢者は増えていると捉えればよいか。

上田係長： そのとおり。

村山委員： 体育施設の利用者数の部分で、令和4年度の勤労者体育館の利用者数が急激に減少しているのはどうしてか。

上田係長： 4月から10月まで、コロナワクチンの保管場所となっており、利用を停止していたためである。約半年の人数と捉えていただけると良い。

市丸会長： メタボに関しては、腹囲の基準がおかしいと思われる。男性の方が体格がしっかりしているのに対して、現在の基準は男性が85cm、女性が90cmとなっており、女性の方が基準が緩い。この結果のように、男性の方が、メタボ該当者が多くなるのは必然的だと考える。

末永委員： 新しい基準を提示しようという動きがある。

西村委員： 市丸会長が言われたとおりで、来年から基準が男女逆転する。新しい基準では、男性が84cm、女性が77cmまで下がる。

末永委員： 現在の基準は、外国のデータをもとに、内臓脂肪を基準にして設定されたため、合っていないのではないか。

市丸会長： 女性は洋なし型、男性はあんこ型と言われる太り方が多いことが関係していると思うが、個人的には基準の数値が逆だと考える。ただ、新しい基準の女性77cmは極端に下がりすぎという気もする。

もう1点質問だが、日の里11号公園の利用者はいないのか。

上田係長： 令和3年度をもって閉鎖した。

市丸会長： そうであれば良い。利用者がいないのであれば、閉鎖するべきだと思ったため質問した。

市丸会長： 他に質問等ないか。

(質問等なし)

市丸会長： 続いて、「②市民アンケートの結果」について事務局から説明をお願いします。

福本(文化スポーツ課)： スポーツ推進計画の策定に伴う市民アンケートの集計結果について説明する。なお、まだ分析までは行っていないため、集計数値のみの説明となる。

まず、アンケート対象者と回答者の内訳についてだが、対象者については、10代(18歳、19歳)から200人、20代から50代までを各500人、60代以上から800人の計3,000人を無作為抽出している。なお、男女の比率やコミュニティの比率についてもバランスをとった抽出をおこなった。回答者については、10代が23人、20代が78人、30代が115人、40代が128人、50代が140人、60代以上が278人、その他・未回答が12人、合計784人であった。回答率については、全体で26.1%、年代別にみると、年代の高い方から順に回答率が下がる結果となっている。

続いて、設問の結果を一通り説明していく。

問1 あなたの性別はどちらですか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

男女同じくらいの回答を得た。

問2 あなたの年齢はどれにあてはまりますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

(基準日:R6.3.31)

70歳以上の回答が最も多い。

問3 あなたがお住まいの地区はどちらですか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

赤間地区、河東地区からの回答が多い。

問4 あなたのお仕事はどれにあてはまりますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

勤め(全日)の方からの回答が最も多い。

問5 あなたは、1回30分以上の運動やスポーツ(散歩・ウォーキングを含む)をどのくらいの頻度で行っていますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

週1日以上と回答した方が最も多い。一方で100票差ほどあるが、運動やスポーツをしていないと回答した方も多くいた。

問6 問5で「1. 週1日以上」と回答した方にお聞きします。1回30分以上の運動やスポーツを週何日行っていますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

2日、3日と回答した方が多い。

問7 問5で「2. 週1回未満であるが、定期的に行っている」と回答した方にお聞きします。運動やスポーツをどのくらい継続していますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

継続期間は1年以上であると回答した方が多い。

問8 あなたはどのような運動・スポーツの経験や興味がありますか。以下の項目から「過去していた運動・スポーツ」、「現在している運動・スポーツ」、「今後始めたい、興味がある運動・スポーツ」の該当する箇所に✓してください。

ウォーキングやマラソン・ジョギングなどは、全体的に票数が多い。野球やバスケットボール、バレーボールなど、運動強度の高い競技については、過去していたが、現在はしていないという回答が多い。

問9 あなたが運動やスポーツを行うのはどのような理由からですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

健康・体力づくり、楽しみ・気晴らし、運動不足解消といった回答が多い。その他にも、犬の散歩や買い物ついでに散歩をするという回答もあった。

問10 あなたはどのような条件が揃えばもっと運動やスポーツを行う(始める)ことができると思いますか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

休暇が増えれば、運動やスポーツにかかる費用が安くなれば、近くに運動・スポーツを行える施設や場所が整備されればという回答が多い。

問11 あなたは宗像市の運動やスポーツをおこなう環境について満足していますか。満足していなければその理由も教えてください。

【運動やスポーツを実施する環境】

分からないという回答が最も多い。また、満足していないと回答した方の理由としては、施設が少ない、料金が高い、情報が少ないなどの意見があった。

【運動やスポーツを学べる(初心者を指導する教室など)環境】

分からないという回答が最も多い。また、満足していないと回答した方の理由としては、教室が自分の予定と合わない、情報が少ないなどの意見があった。

【運動やスポーツを楽しめる(スポーツ観戦やレクリエーション)環境】

分からないという回答が最も多い。また、満足していないと回答した方の理由としては、見たいと思うものがない、交通手段がないなどの意見があった。

問12 あなたは日頃どのような場所で運動やスポーツを行っていますか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

最寄りの公園、広場や道路と回答した方が最も多い。

問13 あなたは過去2年間でどのスポーツ施設を使用したことがありますか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

宗像ユリックスと回答した方が最も多い。

問14 問13で施設の使用があると答えた方にお聞きします。その施設をどのくらいの頻度で利用していますか。

次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

年に数回程度という回答が最も多い

問15 問13で「16. 使用したくない」、「17. 使用したことがない」と答えた方にお聞きします。あなたがスポーツ施設を使用したくない(したことがない)理由を教えてください。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

利用時間が合わない、利用方法がわからない、仲間がいないという回答が多い。

問16 市民体育館の施設の既存の設備やサービスについて改善してほしい内容と、もし追加されるとすればこのような設備がほしいというものがあれば記入してください。

体育室に冷暖房を完備してほしいという要望が多かった。また、トイレはウォシュレット付きの洋式便座にしてほしい、シャワー室の数を増やしてほしいという要望もあった。その他にも、予約がしづらい、施設が古いという意見もあった。

問17 ふれあいの森総合公園の既存の設備やサービスについて改善してほしい内容と、もし追加されると

すればこのような設備がほしいというものがあれば記入してください。

土壌、排水を改善してほしい、大型アスレチックを作してほしい、散策路を歩きやすくしてほしいといった要望があった。また、トイレに関して、数を増やしてほしい、綺麗にしてほしいという要望が多かった。

問18 上記2施設以外でも施設の機能やサービスについて改善してほしい内容と、もし追加されるとすればこのような機能がほしいというものがあれば記入してください。

アクアドームの教室数を増やしてほしい、有料公園テニスコートにオムニコートの新設してほしいという要望があった。

問19 あなたがスポーツ施設にとって重要だと思うものは何ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

交通の便が良い、施設や設備が整っている、施設の規模に適した駐車場がある、施設の使用料が適切であると回答した方が多い。

問20 あなたはどのような運動やスポーツの情報が欲しいですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

各種教室の案内、宗像市内のイベント情報、新しいスポーツ、気軽にできる運動・スポーツなどの情報と回答した方が多い。

問21 あなたは宗像市内の運動・スポーツ情報をどのような方法で手に入れていますか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

宗像市の広報紙と回答した方が最も多い。

問22 あなたは以下の宗像市内の組織や団体の名称、取り組み内容を知っていますか。該当する箇所に✓してください。

宗像市スポーツサポートセンター、南の郷クラブ、宗像市スポーツ協会については、名称も取り組みも知らないと回答した方が多く、グローバルアリーナ、宗像ユリックス、アクアドームについては、名称を知っていると回答した方が多い。

問23 あなたが、子どもが運動やスポーツを始めるきっかけづくりのために重要だと思うものは何ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

幼児時期から外で遊ぶことの習慣化という回答が最も多い。

問24 あなたは、スポーツクラブや地域のサークルなど、3人以上で構成される団体に参加して運動やスポーツを行う、または、指導をしていますか。スポーツクラブなどに参加していない方はどのような環境を整えばスポーツクラブなどで活動したいと思えるかご回答ください。

活動していない人の方が多い。活動したいと思えるには、勧誘されたり、時間やお金に余裕ができればという意見があった。

問25 あなた自身や子どもたちが習い事をはじめらうえて、重視されることは何ですか。次の中からあては

まる番号すべてに○印をつけてください。

毎月の月謝などの金額と回答した方が最も多い。その他にも、親の負担や子どものやる気を重視するという意見もあった。

問26 あなた自身や子どもたちが習い事をはじめるとして、困っていることは何ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

わからないという回答が最も多く、次いで、教室がどこで実施されているかわからないという回答が多い。その他にも、月謝が高い、気軽に入れるところがないという意見もあった。

問27 あなたはどの程度スポーツ観戦（高校生以上の大会）をされていますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

最近1年間で会場には行っていないが、テレビ放送や配信などで観戦していると回答した方が最も多い。

問28 問27 で「1. 最近1年間で1回以上、会場に直接行って観戦している」と答えた方にお聞きます。宗像市内でスポーツ観戦されたことはありますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

観戦したことがないと回答した方が最も多い。

問29 問28 で「2. 観戦したことがない」と答えた方にお聞きます。宗像市内でスポーツ観戦をしない理由は何ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

スポーツ大会などがいつ、どこで開催されるのかわからない、スポーツ観戦したいと思う競技（種目）がないと回答した方が多い。また、小さな子どもがいると難しいという意見もあった。

問30 あなたは、トップレベルのアスリート（高校生以上）の大会やイベントの会場でのどのような取り組みがあると来場したいと思いますか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

ルールの分かるイベント、飲食（キッチンカー）のイベントと回答した方が多い一方で、イベントに興味がないという意見も多かった。

問31 あなたは、宗像市で運動やスポーツの備品（ニュースポーツ）の無料の貸し出しサービスがあることを知っていますか。また、利用したことがありますか。次の中からあてはまる番号 1つに○印をつけてください。

貸し出しサービスのことを知らないと回答した方が多い。

問32 問31で「2. 貸し出しサービスのことを知ってはいるが利用したことはない」とお答えの方にお聞きます。利用したことがない理由は何ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。借用方法がわからない、そもそも借りたいと思う備品がないという回答が多い。

問33 宗像中央公園内には、宗像市民体育館（アリーナ、武道場、卓球場、多目的室）、野球場、テニスコート、屋根付き多目的グラウンドがあります。どのようなスポーツ備品の貸出サービスがあれば利用した

と思いますか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

テニス、バドミントン、卓球という回答が多い。また、その他の回答として、ゴルフ道具やダンス用の全身鏡があればという意見があった。

問34 最後に、運動やスポーツの取り組みについてご意見などがありましたら自由にお書きください。

自由記述については、様々な意見があったが、その一部を抜粋して資料に掲載している。

市丸会長： 質問等ないか。

末永委員： どのように分析をしようと考えているのか。

上田係長： 分析方法については、まだ定まっていない。

市丸会長： どういう分析を期待しているのか。

末永委員： アンケートを実施する際に、いかに若者の意見を吸い上げることができるかという点について協議し、年齢ごとの対象者の人数バランスを決定したと思う。しかし、結果としては、全体に対する高齢者の回答割合が大きくなりすぎており、この結果を単純に集計しただけでは、高齢者の意見が大きく反映されることになる。全年齢層の意見をバランスよく吸い上げるための一例として、10代から30代の回答(216人)、40代から50代の回答(268人)、60代以上の回答(278人)の3つに分けて集計すると、それぞれの年齢層の意見を吸い上げることができると思う。個人的にはこのように分析し、年齢層別の意見の相違を見てみたい。

村山委員： 年代に応じて、ニーズは違う。全体としてのニーズよりも年代別のニーズに対して、市として何をどう提供していくかということを考えることが大切になると思うため、末永委員の一例に私も賛成である。

市丸会長： その他に質問等ないか。

市丸会長： 続いて、「(2)スポーツ施策の進捗状況報告」について事務局から説明をお願いする。

上田係長：

【施策1 スポーツ・運動を通じた市民健康活動の推進】

(1) 市民エンジョイ・ウォーキング事業

ウォーキングの普及、推進について

(令和5年度)11月12日にイイいさんウォーキング宗像大会を実施。

玄海地区で月1回玄海のびのびウォークを実施。

(令和6年度)各スポーツ推進委員の選出、コミュニティ内での定例ウォーキングを実施し、成果の発表の場として、11月にウォーキング大会を実施する。

市民ウォーキング大会等の情報提供やコース整備の検討について

(令和5年度) 広報紙やホームページ、SNS 等を活用し、南郷ぐるっと健やかウォーク、イイさんウォーキング宗像大会の広報を行った。

(令和6年度) 市主催ウォーキング大会や各コミュニティで開催するウォーキング大会の情報発信を行う。

(2) 大学、企業、地域等との連携による市民の健康活動の促進

(令和5年度) イイさんウォーキング宗像大会において、明治安田生命等と連携して事業を実施した。また、ギラヴァンツ北九州と連携して参加者の募集、交流を行った。

スポーツ推進員を核として自治会やコミュニティと連携し、体力測定やポッチャ等の指導を計82回行った。スポーツ協会と協力して学校開放に取り組み、延べ 218,830 人が利用した。また、城山中学校の建替えに伴い、条例の改正や運用体制の整備等を行った。

(令和6年度) 市と連携協定を交わしている企業の協賛を得るなどし、市主催ウォーキング大会を開催する。

スポーツ推進委員を核として自治会等と連携し、体力測定やスポーツ活動を行う。

市民が身近にスポーツ活動が行えるよう、スポーツ協会や市立学校と連携して学校開放事業に取り組む。

(3) 市全域を対象とした総合型地域スポーツクラブの設立・運営

(令和5年度) 南の郷クラブ主催の南郷ぐるっと健やかウォークの活動支援を行った。

(令和6年度) 同様に支援していく。

市丸会長： これまでの説明について、質問等はないか。

市丸会長： 続いて、施策2の説明をお願いします。

上田係長：

【施策2 スポーツ・運動を通じたコミュニティ活動の活発化】

(2) コミュニティ・スポーツ交流事業のサポート

(令和5年度) ニュースポーツ備品の貸出しなどを通じて各地区コミュニティのスポーツを通じた交流事業に対して支援を行った。指導を行ったスポーツ推進委員の延べ人数は 484 人。

(令和6年度) 引き続き同様の支援を行う。

(3) コミュニティ対抗スポーツ大会の開催

(令和5年度) スポーツ推進委員の全面的なサポート体制のもと11月にコミュニティ親善交流グラウンドゴルフ大会が開催され、一般 18 チーム、世代間 4 チームの約 200 人の市民が参加した。

(令和6年度) 各地区コミュニティ役員の協議の結果、事業廃止となったため、予定はない。

市丸会長： これまでの説明について、質問等はないか。

大賀委員： 廃止になった理由はなにか。

上田係長： これまで運営の役割を担ってきた各コミュニティの公民館活動を担当している方々による協議のなかで、自分たちの役割は公民館の活動を盛り上げることであって、グラウンドゴルフ大会の運営をすることが役割ではないという結論に至り、廃止となった。

末永委員： グラウンドゴルフ協会のような団体はないのか。そういう団体が主催して大会を開催できると思う。

上田係長： グラウンドゴルフ協会がある。グラウンドゴルフ協会は引き続きスポーツ協会と連携して大会を開催していく予定。

市丸会長： そのほか質問等はないか。

村山委員： 資料の訂正だが、令和5年度のスポーツ推進委員の延べ人数について、令和6年12月末現在となっているが、令和5年の誤りではないか。

上田係長： そのとおり。訂正する。

市丸会長： そのほか質問等はないか。

市丸会長： 続いて、施策3の説明をお願いします。

上田係長：

【施策3 子どものスポーツ機会の充実】

(1) スマイルキッズプログラム

幼児期を対象とした支援について

(令和5年度) 宗像ユリックス・アクアドームにて、未就学児とその親を対象にした親子プール教室を計10回開催し、延べ88人が参加。一定期間参加した子ども達を民間プールにつなげた。サニックススポーツ振興財団と連携して、幼児を対象にしたタグラグビー訪問教室を開催した。

(令和6年度) 同様の活動を行う。

小学生の体力向上支援について

(令和5年度) 小学5年生の児童を対象に、勝浦浜海洋スポーツセンターにて海洋性スポーツ体験授業を実施した。

小学校の新体カテストにスポーツ推進委員延べ96人を派遣した。

小学3年生から6年生までを対象に、小学生女子ラグビー教室をオリンピックレガシー事業の一環として実施し、8人が参加した。

サニックススポーツ振興財団等と連携して、小学4年生を対象にタグラグビー教室を実施した。

(令和6年度) 同様の活動を実施する。

中学校運動部活動の支援について

(令和5年度) 国の実証事業を活用し、野球2クラブ、バスケットボール2クラブ、バレーボール、柔道の計6クラブで部活動地域移行に向けた研究を実施した。

中学校部活動休養日に中学校運動部活動全10種目のアカデミー教室「むなかたアカデミー教室」を開催し、225人が参加した。

(令和6年度) 剣道等を対象とした受皿クラブの起ち上げ、運営の支援を行う。

引き続き「むなかたアカデミー教室」を開催するにあたり、統括コーディネーターを配置し活動場所の調整や参加者との連絡調整、指導者の確保などを行う。

社会体育等における活動の支援について

(令和5年度)7月末にグローバルアリーナにて宗像スポーツフェスタを実施し、アビスパ福岡の選手によるふれあいサッカー教室、コーチによるワンデースキルアップ教室を実施した。

全国大会等参加費用補助制度を実施し、35件の申請があった。

(令和6年度)中学運動部活動10種目において、中学生を対象にスポーツ大会・教室を開催する。

全国大会規模以上のスポーツ大会に出場した市民に参加費用の補助を行う。

(2) スポーツ指導者体制の整備

スポーツ指導者の育成及び活動支援について

(令和5年度)報告事項はなし。

(令和6年度)グローバルアリーナやスポーツ協会などと連携し、むなかたアカデミークラブや社会体育クラブの指導者を対象に指導者講習会を実施する。

市丸会長： これまでの説明に質問等はないか。

村山委員： クラブチームの内容が含まれていたため情報提供として、令和5年度は、中体連へのクラブチームの参加は県大会からであったが、令和6年度からは、全種目において地区の大会から参加が可能となった。3月時点で、約300のクラブチームが県に登録している。前年度の3月までに県に申し出をし、登録をしておかないと中体連に参加できないため、注意が必要である。

市丸会長： そのほか質問等はないか。

市丸会長： 続いて、施策4の説明をお願いします。

上田係長：

【施策4 ライフステージに応じたスポーツ・運動活動の推進】

(1) スポーツ未実施者等のライフステージに応じたスポーツ・運動プログラムの開発・実施
20代、30代が参加できるスポーツ・運動プログラムについて

(令和5年度)宗像市スポーツサポートセンター教室を平日だけでなく土曜日にも実施。若い世代も気軽に参加しやすいピラティスやストレッチポール教室などを行った。

アビスパ福岡と連携し宗像スポーツフェスタを実施し、そのイベントの一つとして、小学1～4年生とその保護者を対象としたサッカーイベント「ふれあいサッカー大会」を開催した。参加者数は96人。

(令和6年度)若者のスポーツ・運動に関する興味・関心を高めるため、トップアスリートとの交流等を通じて、生涯にわたってスポーツを楽しむ土台づくりを行う。

宗像市スポーツサポートセンター教室については、引き続き同様の取り組みを実施する。

(2) コミュニティにおけるスポーツ・運動活動、健康づくりの支援

(令和5年度)南の郷クラブにおいて、老若男女、大人から子どもまでスポーツ・運動・交流を楽しんでもら

えるよう、高校生以上対象としたヨガやバウンドテニス等、小・中学生を対象としたストリートダンスやソフトテニス等の教室を開催した。南の郷クラブの会員数は124人、教室数は11教室である。

各地区コミュニティにスポーツ推進委員を延べ484人派遣した。延べ参加者数は2,742人。

(令和6年度)各地区コミュニティのスポーツや運動の教室、事業等に必要な講師の派遣等について、スポーツ推進に携わる関係機関と連携してコミュニティにおけるスポーツ・運動活動、健康づくりの支援を行う。

(3) 障がい者のスポーツ・運動活動の支援

障がい者スポーツに触れる機会の提供について

(令和5年度)宗像ユリックス・アクアドームにて、障がい者を対象にしたパラ水泳教室を合計8回開催した。延べ参加者数は20人。

日本パラバドミントン連盟と連携しパラバドミントン教室を開催し、7人が参加した。

宗像ユリックスで市主催のニュースポーツフェスを開催。スポーツ推進委員と連携して、障がい者を含め1,547人の来場者に対してニュースポーツのルールの説明や実際の使い方等の指導を行った。

(令和6年度)すべての市民を対象に、障がい者スポーツに日常的に触れる機会の提供に努める。

パラ水泳教室、パラバドミントン教室について、引き続き同様の取り組みを実施する。

障がい者スポーツ等の情報の提供について

(令和5年度)障がい者を対象にしたスポーツ教室の開催において、障害福祉サービス事業所等に対してメール配信をするなど、情報提供を行った。

(令和6年度)引き続き、情報提供を行う。

市丸会長： これまでの説明に質問等はないか。

市丸会長： 続いて、施策5の説明をお願いします。

上田係長：

【施策5 宗像市スポーツサポートセンターを活用し、住民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備】

(1) スポーツ資産の有効活用

宗像市スポーツサポートセンターでのスポーツ資産情報の集約について

(令和5年度)宗像市スポーツサポートセンターのホームページにおいて集約したスポーツ資産情報を公開した。

(令和6年度)引き続き、同様に情報を公開する。

宗像市スポーツサポートセンターの機能の充実について

(令和5年度)市が主催となり宗像市立中学校の部活動10種目の教室を部活動休養日に実施した。参加者数は225人。

(令和6年度)中学校部活動の地域移行における受皿づくりや休日の部活動に代わる教室を競技種目毎に開催するなど、子どものスポーツ環境充実に向け、スポーツサポートセンターがコーディネーターとしての役割を果たす。

つながりヘルスケア事業を推進するにあたり、健康課と協働しながら事業を実施する。

宗像市スポーツサポートセンターと宗像市スポーツ協会等との連携について

(令和5年度)中学校部活動の地域移行に伴い、受皿クラブの起ち上げを行う際に、スポーツ協会や各単

位協会と十分な調整や意向確認を行い、実証事業クラブの運営を支援した。

(令和6年度)スポーツ協会と連携し、スポーツ協会会員をはじめとした社会体育クラブの指導者を対象に、スポーツ医科学講習会等を実施する。

スポーツ推進委員との連携強化について

(令和5年度)スポーツ推進委員が安心してボランティア活動に取り組めるよう定例会議を毎月開催し、熱中症対策や救急救命などのスキルアップ研修を行った。

児童の体力向上に必要なデータを確実に収集できるよう、スポーツ推進委員と連携し、市立小学校の児童の体力測定を支援した。

プリンセス駅伝やウォーキング大会等の市が主催するイベントでは連携を図り、実施した。

(令和6年度)毎月の定例会や様々な事業において、スポーツ推進委員と連携していく。

市内を本拠地とするトップチームの活用について

(令和5年度)トヨタ自動車九州陸上競技部について、市民を挙げた応援や支援を行えるよう、後援会加入促進を行った。

(令和6年度)引き続き、様々な活動を展開していくとともに、情報発信を行う。

(2) トップスポーツ試合の地元観戦機会の提供(観る)

(令和5年度)主にアビスパ福岡との連携事業を実施した。

(令和6年度)市民が身近にプロのスポーツを親しむことができる環境づくり、生涯にわたってスポーツを楽しむ土台づくり、子どものトップアスリートを目指す機会の提供に努める。

(3) スポーツボランティアの活用・充実(支える)

(令和5年度)宗像ユリックスで開催した市主催のニュースポーツフェスにおいて、スポーツ推進委員延べ56人に全面的なサポートを行っていただいた。

プリンセス駅伝において、計444人のボランティアに大会運営のサポートを行っていただいた。

(令和6年度)多くの市民がスポーツを支える市民ボランティアとしてスポーツイベントに気軽に参加し、支える楽しさをより実感できるような取り組みを実施する。

(4) トップアスリートとの交流事業の実施(交わる)

(令和5年度)サニックススポーツ振興財団による幼保園ラグビー訪問教室を9保育園にて実施。また、小学4年生へのタグラグビー出前授業を市内全小学校にて実施した。

市丸会長: これまでの説明に質問等はないか。

市丸会長: 続いて、施策6の説明をお願いします。

上田係長:

【施策6 スポーツ観光による地域経済活性化】

(1) 全国・九州レベルのスポーツ大会の誘致・開催支援

(令和5年度)ワールドユースラグビー大会やハンドボール大会、新体操サニックスカップ等の全国レベルのスポーツ大会の誘致支援を行った。

(令和6年度)プリンセス駅伝、インターカレッジ等の宿泊を伴う様々な大会の誘致を行う。

(2) スポーツ合宿の誘致活動の支援

合宿・研修会の誘致活動の支援について

(令和5年度)新たな海外や大学のスポーツクラブ等の合宿に係る誘致活動について支援を行い、今年度は三重県的女子ラグビーチームの合宿誘致を行った。

(令和6年度)引き続き、トップアスリートのキャンプの誘致と新たな海外や大学等の合宿に係る誘致について支援を行う。

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」のキャンプ地受入について

(令和5年度)グローバルアリーナで開催されるブルガリアフェスティバルにおいて来日するカザンラック民族舞踊団やサニックス Cup 国際新体操団体選手権で来日するブルガリア・レフスキー新体操クラブとのホストタウン交流等、市民交流を実施した。

(令和6年度)引き続き、ホストタウン交流等、市民交流を進める。

(3) 宿泊や市内周遊につながるスポーツ大会の開催・支援

(令和5年度)小学3年から4年生を対象とした「むなかたキッズセブンラグビー大会」を11月に開催した。スポーツ観光による地域経済活性化を図るため、市内で行われる宿泊を伴うスポーツ大会の開催に要する経費の助成を行った。

(令和6年度)地域経済活性化を図るため、市内で行われる宿泊を伴うスポーツ大会の助成を行い、市内への訪問者の増加、市内周遊者の増加を目指す。

市丸会長： これまでの説明に質問等はないか。

市丸会長： (4)むなかたスポーツコミッション(仮称)の体制の確立は空白だが、何かないか。

吉丸係長： スポーツコミッションとは、スポーツを通じたまちづくり・地域活性化を促す組織と整理しており、全国的にこのスポーツコミッションはスポーツ観光にウエイトをおいている。宗像市も同様に、宗像市外の人が宗像市に来てスポーツをすることにより、経済の活性化を図るといったスポーツ観光の視点でこれまで取り組みを行ってきた。しかし、スポーツを通じたまちづくりには、スポーツ観光だけでなく、宗像市民がスポーツを通じて元気になるということも含まれると考える。今後、部活動の地域移行を進めていくこともあり、スポーツコミッションとしての取り組みが、スポーツ観光の視点と宗像市民のスポーツ活動についての視点を両立させた取り組みになるよう、スポーツコミッションの在り方自体をゼロベースで考え直していきたいと思っているため、こちらの欄を空白にしている。

大賀委員： ツールド九州のコースに宗像市も含まれるということを知ったが、市としての関わりはないか。

大塚課長： 記載が漏れており、お詫び申し上げます。ツールド九州は今年の10月14日に開催される。福岡県からの意向調査に手を挙げた候補地の中から、開催地の一つとして宗像市が選ばれた。コースは、岡垣サンリーアイからスタートし、鐘崎や峠あたりを7周ほど周って宗像大社がゴールとなる。宿泊等が伴うことによる地域経済の活性化やサイクルツーリズムの推進等の効果が見込まれる。当日の大会だけでなく、自転車教室やローゲニングなども絡ませながら市全体で盛り上げていきたいと考えており、また、大会終了後もサイクリングに関連する取り組みが宗像市に定着するよう産業政策課と連携しながら取り組んでいく。宗像市の立ち位置としては、受け入れ先であり、主催は福岡県となる。

市丸会長： そのほかに質問等はないか。

市丸会長： 続いて、施策7の説明をお願いします。

上田係長：

【施策7 スポーツ活動の場の確保】

(1) 既存の3つの市営体育館施設の運営

(令和5年度) 少し古いが、令和4年度の実績として、市民体育館が約12万人、玄海 B&G が約1万8千人、勤労者体育館が約半年の開館で1万人弱の利用があった。修繕状況は、市民体育館の防火シャッターの修繕等を行った。

(令和6年度) 既存の3つの施設の適切な運営に努めていく。

(2) 学校開放施設の運営

(令和5年度) 少し古いが、令和4年度の実績として、約22万人の利用があった。

(令和6年度) 引き続き、適切な運営に努めていく。

市丸会長： これまでの説明に質問等はないか。

市丸会長： 続いて、施策8の説明をお願いします。

上田係長：

【施策8 中核拠点となる施設の再構築と整備】

(1) 体育館施設の整備

(令和5年度) 市民体育館の火災報知機について、保全改修計画に基づき、改修工事を行った。

来年度に予定している調査を行えるよう庁内関係者との調整を行った。

(令和6年度) 市民体育館、玄海 B&G、勤労者体育館等、スポーツ施設の老朽化が進行しているため、その対策が必要である。一方で、宗像市の人口は減少しており、公共施設の面積の削減も必要。これらの社会環境を踏まえた上で、スポーツや運動、防災、健康づくり等に関する施策の着実な推進のために、市民の社会体育施設の利用状況等の現状把握を行い、最良の対策方法について調査・検討を行う。

(2) 屋外スポーツ関連施設の整備

(令和6年度) 明天寺公園野球場において、外野の防護マットの損傷が著しく利用者にとって危険な状況であったため、公園施設長寿命化計画に基づき改修工事を行った。

ふれあいの森総合公園において「カシノナガキクイムシ」によるナラ枯れの被害の拡大が確認され、遊歩道に向かって倒木する可能性が極めて高い被害木の伐採を行った。

(令和6年度) 公園施設長寿命化計画に基づき、市民が安全に利用できるよう保全改修を行う。

(4) 宗像ユリックスのスポーツ施設

(令和5年度) テニスコートの人工芝の劣化が進み、プレーに影響を及ぼす状態になっていたため、利用者が安全に楽しくプレーできるよう全8面コート的人工芝改修工事を実施し、2月に完成した。

(令和6年度) 宗像ユリックス南側ゾーンの活用やアフターコロナによるアウトドアブームの拡大に伴い、芝生広場の周回コースの整備を予定している。

市丸会長： これまでの説明に質問等はないか。

市丸会長： では、全体を通して、質問等はないか。

西村委員： 市民アンケートの内容を検討する際に、体育館の整備等も含めた内容にしているということだったが、その市民アンケートの実施や結果がこの進捗状況には反映されていないように思う。ここには含めなくてよいのか。

上田係長： 市民アンケートの結果については、令和7年度からの計画に反映させていく。

西村委員： おっしゃることは理解できたが、市民アンケートに3000人もの方に協力いただいているため、市民アンケートを実施したということがひとつの大きな取り組みだと感じた。その部分は、現在の計画の中の取り組みには含まれないのか。

上田係長： 来年度、宗像市の現状や市民アンケート結果をもとに宗像市の課題を洗い出し、その課題に取り組む方針をまとめ、令和7年度からの計画として反映していく予定である。市民アンケートはそのための材料として実施したものとなる。

市丸会長： そのほかに質問等はないか。

4 その他

市丸会長： その他のところで、事務局又は委員の方から、報告等はないか。

青野委員： わかる範囲でお尋ねしたいが、学校開放に関連する部分で、AED の設置はどのくらい進んでいるのか。

上田係長： 学校教育においては AED が必要であるが、学校開放事業においては、利用者が責任を持って利用できる場合に利用を認めることとなっているため、救急セットなどを含め、必要であれば利用者で準備していただく。

青野委員： 自己負担ということか。

上田係長： 利用に関して、全て自己責任のもと利用していただく。

青野委員： わかった。

市丸会長： 学校にある AED は使わないということか。

青野委員： 夜間や休日などは校舎を施錠しており、利用できない。以前勤めていた学校で、そのように利用できない状況が発生したことがあった。その時は、医療関係者がいたため、心肺蘇生を行い、最悪の事態には至らなかったが、心配しているところである。

大塚課長： AED の件については、宗像アカデミークラブの方で課題として挙がっている。宗像アカデミークラブは、中学校の体育館を利用しているが、学校が休みの土日を利用しており、学校の AED は利用できない。部活動だと学校の AED が利用できるのに対し、部活動に代わる活動として、市が主催で実施しているアカデミークラブでは AED が利用できない状況であり、教育委員会も含め、解決策を検討しているところである。

青野委員： 学童にも設置されておらず、学童の指導者が倒れた際に学校に借りに来たこともある。幸い一命をとりとめたが、AED は必要だと感じたため、質問させていただいた。

大塚課長： 高価なものであるため、簡単には買い揃えることもできないが、生命にかかわる部分であるため、今後も検討していく。

末永委員： 貸出申請はできないか。

大塚課長： 不可能なことではない。学校と協議をする必要がある。

村山委員： 学校からの貸し出しとなると施錠等の問題が発生するため、市で貸出用の AED を5個程度準備し、学校開放やクラブの活動で利用ができるようにしておくのはどうか。その仕組みがあるにもかかわらず、借りなかった場合は、団体の責任とできるが、その仕組みさえつくなかったとなれば、市に責任が問われる可能性もある。リスクマネジメントとして、その仕組みを構築しておくことは有効だと考える。

大塚課長： 貸出方式が良いかと思うが、今後、検討していく。

村山委員： 学校職員がアカデミークラブの指導者というケースであれば、この問題は解決できるが、その先生がついていないと借りられないため、そういう部分を洗い出して措置をしていく必要がある。

野口委員： 指導者に対して、救急救命の講習会に参加し訓練を行えば、AED がなくても救急の対応ができる。南の郷クラブでは、年1回ウォーキング大会を実施しているが、その際は消防署から AED を借りている。ただ、数が沢山あるわけではない。

市丸会長： 消防署の貸し出しは有料か。

野口委員： 事前に申請すれば無料で借りることができる。

青野委員： 各コンビニにも置いてある。地域にはあるが、体育館にないため、いざというときに困っている。

大塚課長： 学校施設の中で常備されるようになるといいのかもしれませんが、なかなか難しい。

末永委員： 学校開放として捉える範囲にもよる。学校開放なのだから、学校にある AED も開放できると捉えることもできるが、場所の問題なのだろう。

大塚課長： 今は、職員室にしか置いていないため、難しい。

市丸会長： 学校にひとつのみなのか。

青野委員： その通り。

市丸会長： そのほかに質問等はないか。

4 その他


市丸会長： 報告等はないか。

上田係長： 障がい者 2,000 人を対象にオンラインでのアンケートを実施しており、次回の審議会で結果等を説明できればと思っている。来年度の予定については、6月に課題の審議、8月に目標値の説明、10月に施策の柱、基本理念の整理の審議ができればと考えている。

6 閉会

市丸会長： 以上をもって、第4回宗像市スポーツ推進審議会を閉会する。

令和 6 年 5 月 1 日

署名 村山正治 

署名 青野慎一 